

高速電力線搬送通信(PLC)の動き

6月28日に総務省の情報通信審議会が開催され、『高速電力線搬送通信設備に係る許容値及び測定法』、即ち、2～30MHzを使用する高速電力線搬送通信(通称PLC)設備から外部に漏れる妨害波レベルの規格(許容値と測定法)の答申内容が承認され、翌29日に総務大臣に答申されました。

答申によりますと、妨害波の測定(PLCが通信状態の場合)は下の図のような配置で行います。外に漏れる妨害波のレベルは図の中央部にある“電流プローブ”でピックアップした電流を測定します。

許容値は

2～15MHz …… 20dB μ A

15～30MHz …… 30dB μ A

となっています。

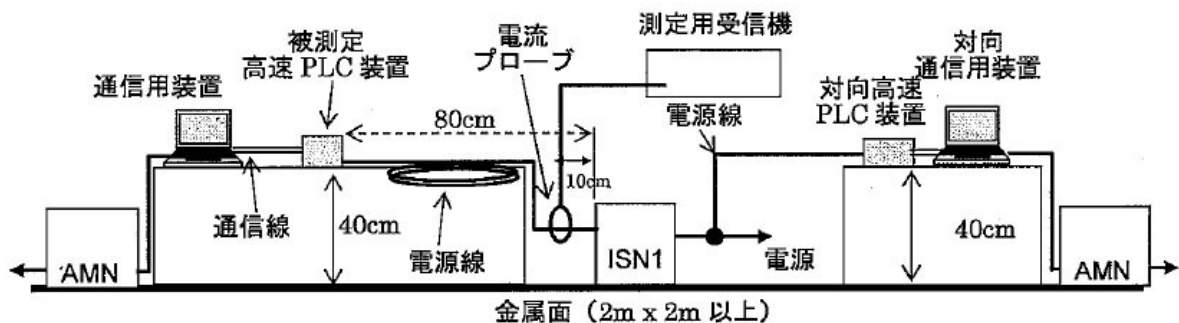


図 電源端子妨害波電流の測定(通信状態)

(総務省・情報通信審議会答申より引用)

また、この測定に使用するインピーダンス安定化回路網“ISN1”には、今回の答申の中に規定されたコモンモードインピーダンスおよび不平衡減衰量(LCL)の値を有する回路を使用することになっています。

なお、答申には、非通信状態での測定・許容値なども定められていますので、詳細については総務省のホームページ等を参照してください。

弊社では、EMC測定装置のメーカーとして、上記の測定に使用できる測定用機器類を製造しておりますが、今回新たに、答申に関係された方々のご指導により、答申の内容に合わせたISNを開発・製造し、販売いたしております。

PLC装置の測定に使用できる機器は下記のとおりですので、弊社ホームページのそれぞれの機器についてカタログ・仕様のページをご覧ください。

- ・ **電源インピーダンス安定化回路 (T-I SN) : KNW-2242**
<http://www.kyoritsudenshi.co.jp/3products/3knw/knm2242.htm>
- ・ **擬似電源回路網 (電源インピーダンス安定化回路網・AMN) : KNW-407**
<http://www.kyoritsudenshi.co.jp/3products/3knw/knw407408.htm>
- ・ **電流プローブ : KCT-2504**
<http://www.kyoritsudenshi.co.jp/3products/3kct/kct2504probe.htm>
- ・ **測定用受信機 (妨害波強度測定器) : KNM-2401~3**
<http://www.kyoritsudenshi.co.jp/3products/3knm/knm240102.htm>
<http://www.kyoritsudenshi.co.jp/3products/3knm/knm24036001.htm>

【注】 お客様の利便のために情報として提供していますが、変更などがあっても当資料が改訂されていないこともありますので、その場合にはご容赦ください。